

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

しまね快適の家

グループの名称

しまね快適の家づくりの会

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名	木村 茂	代表者印
代表者所属先	株式会社 キムラ	
代表者所在地	島根県出雲市斐川町上庄原1280	
代表者電話番号	0853-72-8266	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社 キムラ	
事務局担当者名	梅澤 亮一	印
事務局郵便番号	693-0056	
事務局所在地	島根県出雲市江田町15-1	
事務局電話番号	0853-23-5551	
事務局FAX	0853-23-5984	
事務局担当者E-mail	ryoichi-umezawa@woody-kimura.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	しまね快適の家
2. グループの名称(必須)	しまね快適の家づくりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	--
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	島根県
5. 結成年(必須)	2018 年
6. グループ代表者名(必須)	木村 茂
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 キムラ
8. グループ代表者所在地(必須)	島根県出雲市斐川町上庄原1280
9. グループ代表者電話番号(必須)	0853-72-8266
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 キムラ
11. グループ事務局担当者名(必須)	梅澤 亮一
12. グループ事務局郵便番号(必須)	693-0056
13. グループ事務局所在地(必須)	島根県出雲市江田町15-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0853-23-5551
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0853-23-5984
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ryoichi-umezawa@woody-kimura.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	1	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	1	
V. 設計	8	
VI. 施工	8	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	
	島根県産材	島根県		しまねの木認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		16	棟	
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積			棟	
						㎡	
						㎡	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)			確定物件を優先して割り当てる。重なった場合は協議の上、割り当てる。				
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)							
採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
優良建築物型							
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸		
採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しまね快適の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) しまね快適の家づくりの会	(結成年) 2018 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏・冬の寒暖差が大きいため、高い断熱性能を持たせる。 夏は高温多湿のため、通風に配慮した家づくりを奨励する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	島根県産材を50パーセント以上使用する。 雪の多い地域のため、主要構造材のうち柱・土台は120×120を推奨する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	田園風景、里山の風景にとけこむ住宅デザインとする。	○
④①～③の背景	県土が東西に長く、また平野部から山間部まで幅広い為、気候が多様である。 それぞれに応じた家づくりが必要となる。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用部材の共通化を図る。	○
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材は島根県産材を50パーセント以上使用する。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工グループ員が共同購入することでコストカットにつながるよう事務局で検討する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ機器の紹介を通して施工グループ員の知識の向上に努める。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: BELS認証取得を目指す。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に対してわかりやすい見積もりの作成を心がける	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主の要望もあるので、可能な限り完成住宅の展示会・内覧会を行い、グループの周知・信頼性の向上に努める。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 隔週にての、週休2日制を目指す。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の中で未加入の場合、グループとして加入を勧める。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 始業前の準備運動を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しまね快適の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) しまね快適の家づくりの会	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は電子媒体で保存する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で点検の共通ルールを作成する	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修を行った場合その写真とともに履歴に保存する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検補修の報告書を事務局に提出する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新製品の展示会、勉強会に参加する。(年1回)	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見学会実施時に合わせて相談会も検討する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が相談窓口を引き継ぐ形で対応する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ内の経験メンバーを中心としての勉強会を開催する。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 総会時、技術力向上に向けた各メンバーの取り組みを発表し考察する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 2		
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ員への講習会開催日の周知徹底を図る。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新製品・新技術等の情報をグループ内で積極的に共有し、活用に努める。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しまね快適の家	(地域型住宅供給対象地域) 島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) しまね快適の家づくりの会	(結成年) 2018年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

住宅性能の見える化を進めるため、BELS認証に積極的に取り組む。

高度省エネ型

○認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅

認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅ともに外皮性能、一次エネルギー消費量を基準よりもできるだけ高性能にすることを推奨する。

定量的評価項目(必須項目)

○省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量(家電等のエネルギー消費量を除く)が△10%以上となること。(※)

省エネ法の省エネ基準 低炭素基準 10%

(戸建住宅イメージ)

※省エネルギー法に基づく省エネルギー基準と同等以上の断熱性能を確保することを要件とする。

選択的項目

省エネルギー性に関する基準では考慮されない、以下に掲げる低炭素化に資する措置等のうち、一定以上を講じていること。

○HEMSの導入
エネルギー使用量の「見える化」などにより居住者の低炭素化に資する行動を促進する取組を行っている。

○節水対策
節水型機器の採用や雨水の利用など節水に資する取組を行っている。

○木材の利用
木材などの低炭素化に資する材料を利用している。

○ヒートアイランド対策
敷地や屋上、壁面の緑化などヒートアイランド抑制に資する取組を行っている。

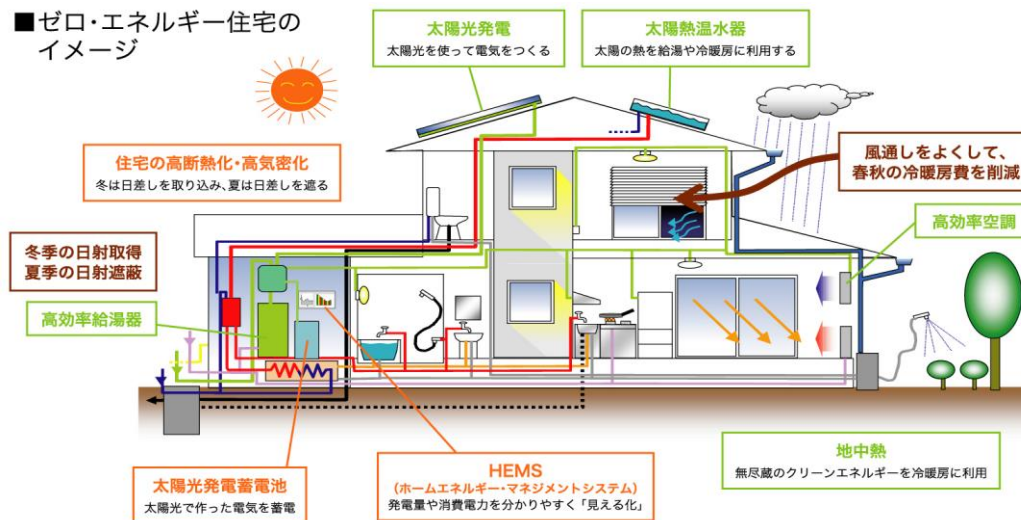
○ゼロ・エネルギー住宅

外皮性能(外皮平均熱貫流率UA値)は0.60(W/m²・K)

エネルギー削減率(全体 R)は100%、エネルギー削減率(太陽光発電を除く Ro)は20%とするが、基準よりもできるだけ高性能にすることを推奨する。

また太陽光発電量、住宅設備によるエネルギー削減よりも建物躯体の基本性能を重視する。

■ゼロ・エネルギー住宅のイメージ



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。